

# 公益社団法人都市住宅学会・2022年度事業報告

(2022年4月1日より2023年3月31日まで)

## 1. 総会の開催

(本部)	
2022年度通常総会を開催	5月20日
(東北支部)	
2022年度通常総会を開催	4月21日
(関東支部)	
2022年度通常総会を開催	4月9日
(中部支部)	
2022年度通常総会を開催	4月17日
(関西支部)	
2022年度通常総会を開催	4月16日
(中国・四国支部)	
2022年度通常総会を開催	4月16日
(九州支部)	

## 2. 理事会及び常議員会開催

理事会 3回開催	
第1回理事会	2022年9月16日
第2回理事会	2022年10月21日
第3回理事会	2022年11月19日
・常務理事会 1回開催	
第1回常務理事会	2022年9月16日

## 3. 都市住宅学会賞等の選考

学会賞委員会により、論文賞、論説賞及び研究奨励賞、著作賞の選考を実施

## 4. 学会誌の発行

117号以降の刊行を準備

## 5. 第30回学術講演会の開催

・都市住宅学会第30回学術講演会を次のとおり開催

- (1) 日時：2022年11月18日(金)～20日(日)
- (2) 見学会：2022年11月18日(金)

福岡県宗像市日の里団地の再生－郊外住宅地の「さつくり」の取組み

- (3) メインシンポジウム

2022年11月19日(土) 14:00～17:00

テーマ：郊外居住の新たな価値－日の里団地再生のセカンドステージ、表彰式

2022年11月20日(日)

ワークショップ、研究発表会

## 6. 本部及び各支部によるシンポジウム等開催

(本部)	
秋の全国大会	
表彰式	
2022年11月19日(土) 13:00～13:45	

メインシンポジウム

2022年11月19日(土) 14:00～17:00

テーマ：「郊外居住の新たな価値－日の里団地再生のセカンドステージ」

(東北支部)

1. 東北支部主催・共催のセミナー等の開催

・東北支部会員の学術交流の場として、支部会員を含む地域の方々対象とする講演会等を実施することを目的とし、日常的に各団体と情報交換等を実施した。

【勉強会】

2022年7月13日

支部会員の東北大学名誉教授、特任教授客員の島田明夫氏、支部会員有志及び東北大学公共政策大学院の実務家教員を招き、実施した。

・復興状況調査の結果、及び、同氏が独自に現地調査した西日本豪雨での対応や復興について報告、意見交換等。

・その他については、コロナ禍の事情もあり、セミナー等のイベント開催には至らなかった。

2. 都市住宅関係の情報交流の活発化

・各県の都市住宅関係の情報交換の場（WEB会議を含む）をもつ取り組みを継続した。

「みやぎボイス2023」を依頼に基づき後援。

開催：9月2日

3. 東北支部が関与する住宅等に関連するイベントへの積極的参加（未参加）

4. 研究活動の活性化

・支部会員が実施する宮城県登米市内の明治の町家（有形文化財）を保存活用するための計画検討にかかる現地調査、及びお試し利用としてのワークショップ開催にあたっての交通費補助を実施。

・支部会員が実施する高経年マンション型団地の再生に向けた住戸リノベーション調査にあたっての交通費補助の実施。

・東日本大震災の福島復興に関わっている支部会員の御手洗潤東北大学教授と、東北支部の中心メンバーが、福島復興新生機構の動向や現状の復興の取組みについて情報交換。

(関東支部)

・関東支部交流研究会

ベトナム中部の伝統建築物・文化調査

2023年3月21日(火) - 26日(日)

(中部支部)

・講演会

2022年12月2日

テーマ：「伊賀・甲賀の草葺民家－金属板の被覆が生んだ現代の民家デザイナー」

講師：三重大学大学院建築学専攻大井隆弘助教

Zoomによるオンライン開催（参加者：16名）

2022年12月22日

テーマ：「空き家・空き部屋を活用した住まいのサブスク」

講師：株式会社アドレス代表佐別当隆志様

場所 相山女学園大学生活科学部棟B106

(参加者：23名)

・見学会

2022年10月8日

テーマ：ザ・シーン徳川園（名古屋市東区）排水管改修工事について

講師：ザ・シーン徳川園管理組合大島氏

(参加者：12名)

2023年1月17日

テーマ：岐阜市高島屋南地区再開発事業について

講師：戸田建設現場横井所長

(参加者：7名)

(関西支部)

総会記念フォーラム

日時：2022年4月17日

場所：独立行政法人都市再生機構 西日本支社会議室 (Zoom併用)

講演1：「他社利用の視点から見た敷地内屋外空間のポテンシャル」

・笹尾和宏（水辺のまち再生プロジェクト事務局）

【見学会】

2022年7月28日（木）

10時～12時 神戸市東多聞住宅 見学会

参加人数 10名

2023年3月4日（土）

10時～16時 泉北ニュータウン泉ヶ丘周辺 見学会

参加人数 20名

(中国・四国支部)

講演会（電子的方法による）

期日：2022年8月5日（金）

開催方法：オンライン

テーマ：宮島の伝建化に係わる行政支援からの報告ー1人1地域支援の在り方ー

主旨説明：上田恭嗣支部長（ノートルダム清心女子大学名誉教授）

講師：森保洋之先生（広島工業大学名誉教授）

参加者：32名（本支部会員のほか、関西支部・九州支部、行政職員、学生等）

見学会

期日：2022年10月8日（土）～9日（日）

場所：徳島県神山町

主な内容：

・神山町の取り組みについてのレクチャー

講師：隅田徹氏（株式会社えんがわ/株式会社WEEK神山 代表）

・神山町内のサテライトオフィス・ツアー

案内：後藤氏（NPOグリーンバレー スタッフ）

参加者：6名（会員4名、非会員1名、学生1名）

(九州支部)

支部総会記念企画 市営住宅見学会「大牟田市の空家対策と市営住宅建替への取り組み」

日時：2022年4月16日（土）14：00～17：20

会場：市営高泉住宅A棟集会所、市営高泉住宅C棟集会所

プログラム：

(1) よかもん商店街 見学（市営高泉住宅C棟前）

(2) 市営高泉住宅A棟集会所

①あいさつ（大牟田市建築住宅課課）

②羽山台空家対策プロジェクトについて

③市営高泉住宅の建替事業と指定管理によるコミュニティ支援について（大牟田市建築住宅課、大牟田市営住宅管理センター）

(3) 市営高泉住宅B棟現場見学

(4) 市営高泉住宅C棟集会所

(5) 市営南橋住宅 車窓見学

参加人数 15名（会員9名、一般6名）

都市住宅学会九州支部優秀学生賞

募集期間 2023年2月15日～2月25日

## 7. 学術的研究活動の活性化

学際的研究活動をさらに活性化するため、都市住宅研究センターにおける自主研究を実施するとともに、各支部における会員増の促進を図ること等を通じて各支部活動の支援を行った。

## 8. 関係学会等との連絡等

都市住宅に関する学術的研究の進捗普及を図るため、内外の関係学会等との連絡及び協力を行った。

本年度も「学術交流に関する覚書」を締結した韓国住居学会との交流を継続した。

## 9. 調査研究の受託について

昨年度に引き続き、都市住宅学関連の団体からの調査受託を行い、各調査委員会を設置して調査研究を実施した。

## 10. 本部及び各支部による委員会等活動

(本部)

・総務企画委員会（1回開催）  
第147回 2022年9月16日（Zoom）

・編集委員会（未開催）

・学会賞委員会（3回開催）  
第91回 2022年7月7日（Zoom）  
第92回 2022年8月26日（Zoom）  
第93回 2022年10月20日（Zoom）

・業績賞委員会（2回開催）  
第33回 2022年11月11日（Zoom）  
第34回 2023年3月7日（Zoom）

(関東支部)

・関東支部 常議員会 (3 回開催)

第 1 回常議員会 2022 年 7 月 22 日 (Zoom)

第 2 回常議員会 2022 年 9 月 29 日 (Zoom)

第 3 回常議員会 2023 年 2 月 2 日 (メール審議)

・本部関連

全国大会

公益社団法人都市住宅学会 全国大会ワークショップ

(関東支部) 日時: 11 月 20 日 (日) 12:45~14:45

テーマ:「環境の行政・司法コントロールの限界と政策課題を探る: 都市の性能と居住者の感じ方を考慮した柔軟性へ」

(中部支部)

・中部支部 常議員会 (2 回開催)

第 1 回常議員会 2022 年 4 月 9 日 (土) (Zoom)

第 2 回常議員会 2023 年 2 月 21 日 (火) (名古屋大学・Zoom)

・中部支部 幹事会 (6 回開催)

第 1 回幹事会 2022 年 5 月 11 日 (水) (名古屋大学・Zoom)

第 2 回幹事会 2022 年 6 月 16 日 (木) (名古屋大学・Zoom)

第 3 回幹事会 2022 年 7 月 21 日 (木) (Zoom)

第 4 回幹事会 2022 年 9 月 12 日 (月) (名古屋大学・Zoom)

第 5 回幹事会 2022 年 11 月 10 日 (木) (名古屋大学・Zoom)

第 6 回幹事会 2022 年 12 月 15 日 (木) (名古屋大学・Zoom)

・住宅市場研究会

(1) 郊外住宅地部会

【委員:海道清信 (部会長)、河崎典夫、村上心、浦山益郎】

(可児市) 団地交流懇談会活動について報告します。会のメンバーは13名。可児市のまちづくり活動助成金(活動助成)を得ることができ、4年目の活動をすすめました。可児市内の住宅団地において、団地生活の安心とつながりを高め、コミュニティの活性化をはかるために、各団地でのいろいろな取り組みの情報交換、経験交流、要望のとりまとめや調査研究、先進地視察、学習会や講演会の開催、イベントなどを行うという目的に沿って活動を展開して、成果を上げることができました。

具体的には下記:

①今年度は可児市からのまちづくり活動助成金を得ることができました。5月から2月まで計8回の懇談会を、毎回10名前後の参加で、毎回2時間ほど、各団地集会所会議室を順に会場を変更して開催することができました。

②コロナ禍のために活動が制約されましたが、先進地域の見学会-春日井市グループふじとうーを実施できました。団地の公共施設の今後のあり方、公的施設のリノベーションや、身近なコミュニティ施設のあり方、NPOや地域住民が参加した運営などに示唆を得ることができました。

③各団地における活動の交流や意見交換を行いました。また、関心のあるテーマを取り上げ、各団地の取り組みを紹介してもらいました:防災活動、公共空間の管理のあり方、防犯カメラ、子どもの減少と将来の学校のゆくえなど。

④11月に参加メンバーによって春日井市押沢台北地区ブラブラまつりの見学をしました。

⑤団地のコミュニティ活動の活性化にむけて、先進地からも学び、光陽台で初めてのブラブラまつりを開催すること

ことができました。この取り組みはいろいろな面で意義のあるものと確認できました。

⑥初めて、可児NPOフェスタに出店して、他の地域のまちづくり活動との交流もできました。

⑦中部大学松山研究室の調査(桂ヶ丘・ポケットパーク利用実態)に協力しました。興味深い調査結果を知ることができ、今後の活用に活かすことができると考えられます。

⑧それぞれ、団地のこれからあり方や地域活動について興味深い示唆を得ることができました。

なお、同会のホームページで活動を紹介しています:

<https://kanidanchi.web.fc2.com/>

(2) 住宅再生部会

【委員:村上心 (部会長)、川野紀江 (幹事)、研究者・行政・民間15名程度】

住宅再生に関する一般公開の講演会を企画・実施した。

タイトル「次世代の住まいにむけた居住実験とその実践 — 実験集合住宅NEXT21 などの事例を通じて」

講師 加茂みどり氏 追手門学院大学 地域創造学部 教授  
1/18(水)16:00~17:30 @ 椋山女学園大学 対面12名+zoom(急遽希望あり設定) 5名参加

(3) 公共住宅部会

【委員:松山明 (部会長)、林直孝 (幹事)、研究者・行政・民間20名程度】

○9月22日(木)対面(於:名古屋大学ES総合館)

<テーマ>借りたいヒトの想いと貸したいヒトの想いを  
つなぐさかさま不動産

<講師>

・水谷岳史株式会社0n-Co代表取締役

・藤田恭兵株式会社0n-Co代表取締役CVO

<参加者>12名

<概要>

・株式会社0n-Coは、まちづくりに関連する様々なサービス事業を展開する企業で、「さかさま不動産」はそのひとつ

・「さかさま不動産」は、従来の借り手に対する「貸したい・物件」ではなく、貸し手に対する「借りたい・人」の情報を提供するもの(ゆえに「さかさま」)

・現在借り手の情報を約130件あまりネット上に掲載、これまでの成約は14件

・本サービスは無償提供で、契約等は別途当事者同士で実施。会社として不動産仲介業は行わない(利益は「空間プロデュース」等により確保)

○3月16日(木)対面(於:愛知県住宅供給公社)

<テーマ>愛知県営住宅のPFI~東浦住宅の建替事業を中心に

<講師>

・愛知県建築局公共建築部公営住宅課

<参加者>22名

<概要>

・愛知県営住宅におけるPFI事業について、初めて実施された東浦住宅での建替事業を中心に、愛知県営住宅長寿化計画や県営住宅の整備状況なども含めて説明

・昭和40年代に建設された大量の県営住宅が一斉に更新時期を迎え、建替費用の縮減が大きな課題となる中、民間事業者のノウハウの活用等により、建替費用の縮減や事業期間の短縮等を図るため、PFI手法を導入

・東浦PFIでは、老朽化した既存住棟の建替・バリアフリー化だけでなく、余剰地の活用による子育て世帯や若年世帯の定住促進や、「はぐくみの路(緑道)」による入居者と近隣住民の交流促進を期待

・そのほかの愛知県営住宅でのPFI方式整備事業について、対面式キッチンの採用(上和田住宅)や、移動販売車に対応した集会所整備(野並住宅)など、新たな試みについて説明

(4) 住宅リフォーム産業部会

【委員：高井宏之(部会長)、小川、小野、大崎、尾崎、谷村、他4名】

活動なし

(関西支部)

・関西支部 常議員会(6回開催)

第1回常議員会 2022年5月25日(ZoomによるWeb会議)

第2回常議員会 2022年7月14日(ZoomによるWeb会議)

第3回常議員会 2022年9月14日(ZoomによるWeb会議)

第4回常議員会 2022年11月22日(ZoomによるWeb会議)

第5回常議員会 2023年1月17日(ZoomによるWeb会議)

第6回常議員会 2023年3月2日(ZoomによるWeb会議)

[研究委員会の設置状況]

2022年度は4つの研究委員会が活動を継続

- ・団地における3公連携研究委員会
  - ・集合住宅における私有公開空間研究委員会
  - ・在日外国人の住まい・コミュニティ研究委員会
  - ・都心近郊エリアにおける鉄道沿線まちづくり研究委員会
- [団地における3公連携研究委員会]

2022年6月6日(月)

UR 団地の集会所を活用したコミュニティ支援事業の実施状況についてヒアリングを実施

6月13日(月)

神戸住環境整備公社に対するヒアリングの実施

10月1日(土)

神戸住環境整備公社・子育て家庭のための空き地リノベーション～新たな住まいかた、暮らしかた in 名谷～戸建住宅の構造見学会への参加

2月4日(日)

神戸住環境整備公社・子育て家庭のための空き地リノベーション～新たな住まいかた、暮らしかた in 名谷～団地住居・戸建住宅のリノベーション見学会への参加

3月4日(土)

支部事業・泉北ニュータウンにおける団地再生事業の企画・運営

【集合住宅における私有公開空間研究委員会】

2022年4月17日(日)

シンポジウム「集合住宅と都市との連続性～集合住宅の屋外空間の価値づくり～」開催

【在日外国人の住まい・コミュニティ研究委員会】

2022年11月20日(日)

都市住宅学会大会第30回学術講演会ワークショップ

「多文化共生のまちづくり-オールドカマー居住地からの発信」開催

【都心近郊エリアにおける鉄道沿線まちづくり研究委員

会】

第1回 4月22日(金) 18:30～研究会@都市活力研究所  
(大阪市北区大深町3-1)

第2回 5月30日(月) 19:00～研究会@都市活力研究所  
(大阪市北区大深町3-1)

第3回 6月15日(水) 19:00～研究会@関大ミライズ  
(大阪市北区鶴野町1-5)

話題提供：木村貴一さま(木村工務店)「生野区の空き家カフェについて」

第4回 7月6日(水) 19:00～研究会@関大ミライズ  
(大阪市北区鶴野町1-5)

話題提供：吉原勝己さま(吉原住宅)「吉原住宅の活動について」(オンライン)

第5回 8月10日(金) 19:00～研究会@Zoom

第6回 9月3日～4日(金) 大牟田・福岡視察

案内人：吉原勝己さま(吉原住宅)

第7回 11月5日(土) 15:00～

連続セミナー1@コムウト+現場長屋(北区本庄西1-6) コーディネーター岡絵理子(関西大学) 登壇者太田翔(株OSTR)、船橋耕太郎(コムウト)、末村巧(合資会社マツシティ) 参加者23名

第8回 11月26日(土) 10:00～

連続セミナー1@元南都銀行元町出張所(生駒市元町1-8) コーディネーター萩原友貴 登壇者 小林牧子(合同会社ココデザイン)、田村廉太郎(株クオル)、小倉宏史(カフェKininalu) 参加者29名

第9回 1月21日(土) 10:00～

連続セミナー1@和居輪居(豊中市岡町南1-13)

コーディネーター神吉優美(奈良県立大学)

登壇者 勝部麗子(豊中市社会福祉協議会) 参加者27名

第10回 1月28日(土) 10:00～

連続セミナー1@尼崎市抗瀬小学校(尼崎市抗瀬北新町2-6)

コーディネーター相馬美津子(尼崎市役所)

登壇者 若狭健作(株地域環境計画研究所)、三鼓由希子(古書みつづみ書房)、宮崎健一(抗瀬地域まちなか再生協議会)

参加者42名

第11回 2月1日(土) 19:00～研究会@関大ミライズ  
(大阪市北区鶴野町1-5)

【2022 学生研究発表交流会】

日時：2022年9月24日(土) 14時15分～17時

会場：京都大学吉田キャンパス総合研究9号館 4F N7 教室ギャラリー

参加：26名(発表学生：14名)

・本部関連

全国大会

公益社団法人都市住宅学会 全国大会ワークショップ  
(関西支部) 日時：11月20日(日) 12:45～14:45

方法：福岡大学(Zoom併用)

テーマ：「多文化共生のまちづくり-オールドカマー居住地からの発信」

(中国・四国支部)

・中国・四国支部 常議会 (6回開催)

- 第1回 常議員会 2022年4月16日 (電子的方法による)
- 第2回 常議員会 2022年5月27日 (電子的方法による)
- 第3回 常議員会 2022年6月23日 (電子的方法による)
- 第4回 常議員会 2022年7月8日 (電子的方法による)
- 第5回 常議員会 2022年9月1日 (電子的方法による)
- 第6回 常議員会 2022年10月5日 (電子的方法による)

(九州支部)

・九州支部常議員会

- 第1回 常議員会 2022年4月16日 (オンライン形式)
- 第2回 常議員会 2022年5月27日 (オンライン形式)

・九州支部学生表彰委員会

- 第1回学生表彰委員会 2023年3月7日(オンライン形式)

以上

## 事業報告附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項として記載すべき事項は、特にありません。

以 上

## 都市住宅学会・2022年度貸借対照表

2023年3月31日現在

(単位:円)

科目	2022年度	2021年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金	47,714	97,109	△ 49,395
普通・郵便預貯金	9,484,440	11,302,664	△ 1,818,224
定期預金	15,116,470	15,116,470	0
未収金	6,760,260	13,502,020	△ 6,741,760
前払金	0	0	0
立替金	0	0	0
流動資産合計	31,408,884	40,018,263	△ 8,609,379
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	30,368,125	30,368,125	0
基本財産合計	30,368,125	30,368,125	0
(2) 特定資産			
定期預金	45,126,259	45,126,259	0
特定資産合計	45,126,259	45,126,259	0
固定資産合計	75,494,384	75,494,384	0
資産合計	106,903,268	115,512,647	△ 8,609,379
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	3,258,056	4,322,010	△ 1,063,954
前受金	302,463	844,000	△ 541,537
預り金	408,989	995,700	△ 586,711
流動負債合計	3,969,508	6,161,710	△ 2,192,202
2. 固定負債			
退職給付引当金	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	3,969,508	6,161,710	△ 2,192,202
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
補助金	0	0	0
寄付金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	102,933,760	109,350,937	△ 6,417,177
(うち基本財産への充当額)	(30,368,125)	(30,368,125)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(45,126,259)	(45,126,259)	(0)
正味財産合計	102,933,760	109,350,937	△ 6,417,177
負債及び正味財産合計	106,903,268	115,512,647	△ 8,609,379

都市住宅学会・2022年度正味財産増減計算書  
2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位:円)

科目 大科目 中科目	2022年度	2021年度	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の分</b>			
<b>(1) 経常収益</b>			
①基本財産運用収入			
基本財産利息収入	605	403	202
②特定資産運用益(利息収入)			
定期預金利息収入	1,086	99	987
③受取入会金	7,000	89,000	△ 82,000
入会金収入	7,000	89,000	△ 82,000
④会費収入	2,816,000	13,588,150	△ 10,772,150
正会員・準会員	901,000	10,853,150	△ 9,952,150
賛助会員	1,915,000	2,735,000	△ 820,000
⑤事業収入	1,382,680	9,290,000	△ 7,907,320
研究受託収入	583,440	8,580,000	△ 7,996,560
事務受託収入	260,000	560,000	△ 300,000
支部研究受託収入	539,240	150,000	389,240
支部交付金	0	0	0
⑥受取補助金等	0	0	0
補助金等収入	0	0	0
研究成果公開促進費	0	0	0
⑦受取寄付金	0	0	0
指定寄付金	0	0	0
一般寄付金	0	0	0
⑧雑収益	1,686,539	2,009,076	△ 322,537
受取利息	90	1,076	△ 986
雑収入	1,686,449	2,008,000	△ 321,551
経常収益計	5,893,910	24,976,728	△ 19,082,818
<b>(2) 経常費用</b>			
①事業費支出	9,423,889	12,705,654	△ 3,281,765
給与手当	2,849,920	1,722,694	1,127,226
臨時雇賃金	0	0	0
福利厚生費	104,299	84,840	19,459
会議費	10,080	0	10,080
旅費交通費	200,379	178,401	21,978
通信運搬費	343,209	501,090	△ 157,881
消耗品費	61,866	122,475	△ 60,609
印刷製本費	44,733	47,118	△ 2,386
論文集発行費	705,762	2,113,868	△ 1,408,106
賃借料	1,240,791	1,174,832	65,959
諸謝金	1,418,176	2,759,758	△ 1,341,582
租税公課	374,430	248,710	125,720
研究委託費	377,468	1,788,773	△ 1,411,305
事務委託費	292,600	935,820	△ 643,220
秋季全国大会費	700,000	250,000	450,000
シンポジウム費	504,930	423,663	81,267
研究成果公開促進費	0	23,980	△ 23,980
基盤研究費(間接経費)	0	0	0
国際交流費	162,414	200,000	△ 37,586
事業費予備費	0	0	0
図書購入費	0	0	0
雑費	32,833	129,632	△ 96,799
②管理費支出	2,887,198	3,766,707	△ 879,509
給与手当	1,221,394	738,297	483,097
臨時雇賃金	0	0	0
福利厚生費	44,700	36,360	8,340
会議費	4,320	0	4,320
旅費交通費	85,877	76,457	9,419
通信運搬費	147,090	214,753	△ 67,663
消耗品費	26,514	52,490	△ 25,976
印刷製本費	18,233	20,194	△ 1,961
賃借料	531,768	503,500	28,268
諸謝金	0	0	0
租税公課	160,470	106,590	53,880
研究委託費	161,772	766,617	△ 604,845
事務委託費	125,400	401,066	△ 275,666
総務費	345,041	749,271	△ 404,230
図書購入費	0	0	0
雑費	14,621	56,107	△ 41,486
雑損	0	45,007	△ 45,007
経常費用計	12,311,087	16,472,361	△ 4,161,274
当期経常増減額	△ 6,417,177	8,504,367	△ 14,921,544
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1)経常外収益	0	0	0
(2)経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 6,417,177	8,504,367	△ 14,921,544
一般正味財産期首残高	109,350,937	100,846,570	8,504,367
一般正味財産期末残高	102,933,760	109,350,937	△ 6,417,177
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
1. 受取寄付金	0	0	0
2. 一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>			
	102,933,760	109,350,937	△ 6,417,177

都市住宅学会・2022年度正味財産増減計算書(内訳表)  
2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位:円)

科目 大科目 中科目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
<b>1. 経常増減の分</b>				
<b>(1) 経常収益</b>				
①基本財産運用収入				
基本財産利息収入	605	0	0	605
②特定資産運用益(利息収入)				
定期預金利息収入	0	1,086	0	1,086
③受取入金	4,900	2,100	0	7,000
入金収入	4,900	2,100	0	7,000
④会費収入	1,548,800	1,267,200	0	2,816,000
正会員・準会員	495,550	405,450	0	901,000
賛助会員	1,053,250	861,750	0	1,915,000
⑤事業収入	967,876	414,804	0	1,382,680
研究受託収入	408,408	175,032	0	583,440
事務受託収入	182,000	78,000	0	260,000
支部研究受託収入	377,468	161,772	0	539,240
支部交付金	0	0	0	0
⑥受取補助金等	0	0	0	0
補助金等収入	0	0	0	0
研究成果公開促進費	0	0	0	0
⑦受取寄付金	0	0	0	0
指定寄付金	0	0	0	0
一般寄付金	0	0	0	0
⑧雑収益	1,180,577	505,962	0	1,686,539
受取利息	63	27	0	90
雑収入	1,180,514	505,935	0	1,686,449
経常収益計	3,702,758	2,191,152	0	5,893,910
<b>(2) 経常費用</b>				
①事業費支出	9,423,889	0	0	9,423,889
給与手当	2,849,920	0	0	2,849,920
臨時雇賃金	0	0	0	0
福利厚生費	104,299	0	0	104,299
会議費	10,080	0	0	10,080
旅費交通費	200,379	0	0	200,379
通信運搬費	343,209	0	0	343,209
消耗品費	61,866	0	0	61,866
印刷製本費	44,733	0	0	44,733
論文集発行費	705,762	0	0	705,762
賃借料	1,240,791	0	0	1,240,791
諸謝金	1,418,176	0	0	1,418,176
租税公課	374,430	0	0	374,430
研究委託費	377,468	0	0	377,468
事務委託費	292,600	0	0	292,600
秋季全国大会費	700,000	0	0	700,000
シンポジウム費	504,930	0	0	504,930
研究成果公開促進費	0	0	0	0
基盤研究費(間接経費)	0	0	0	0
国際交流費	162,414	0	0	162,414
事業費予備費	0	0	0	0
図書購入費	0	0	0	0
雑費	32,833	0	0	32,833
②管理費支出	0	2,887,198	0	2,887,198
給与手当	0	1,221,394	0	1,221,394
臨時雇賃金	0	0	0	0
福利厚生費	0	44,700	0	44,700
会議費	0	4,320	0	4,320
旅費交通費	0	85,877	0	85,877
通信運搬費	0	147,090	0	147,090
消耗品費	0	26,514	0	26,514
印刷製本費	0	18,233	0	18,233
賃借料	0	531,768	0	531,768
諸謝金	0	0	0	0
租税公課	0	160,470	0	160,470
研究委託費	0	161,772	0	161,772
事務委託費	0	125,400	0	125,400
総務費	0	345,041	0	345,041
図書購入費	0	0	0	0
雑費	0	14,621	0	14,621
雑損	0	0	0	0
経常費用計	9,423,889	2,887,198	0	12,311,087
当期経常増減額	△ 5,721,131	△ 696,046	0	△ 6,417,177
<b>2. 経常外増減の部</b>				
(1) 経常外収益	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 5,721,131	△ 696,046	0	△ 6,417,177
一般正味財産期首残高	41,929,672	67,421,265	0	109,350,937
一般正味財産期末残高	36,208,542	66,725,219	0	102,933,760
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
1. 受取寄付金	0	0	0	0
2. 一般正味財産への振替額	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>36,208,542</b>	<b>66,725,219</b>	<b>0</b>	<b>102,933,760</b>

都市住宅学会・財務諸表に対する注記

2023年3月31日現在

公益社団法人都市住宅学会

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提が適切であるかどうかを総合的に評価した結果、貸借対照表において、単独で又は複合して継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況は存在しません。

2. 重要な会計方針

平成20年度基準を採用しております。

(1)消費税等の会計処理

税込み方式

(2)支部運転資金の流動資産化

2013年度の公益社団法人移行に伴い、従来、特定資産としていた支部の運転資金を流動資産に移行したため、前期繰越収支差額(流動資産の期首残高)に計上済み。

3. 会計方針の変更

2013年度決算から平成20年度会計基準を採用しました。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次の通りである (単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	30,368,125	0	0	30,368,125
小計	30,368,125	0	0	30,368,125
特定資産				
運営基金	45,126,259	0	0	45,126,259
小計	45,126,259	0	0	45,126,259
合計	75,494,384	0	0	75,494,384

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次の通りである (単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	30,368,125	(0)	(30,368,125)	(0)
小計	30,368,125	0	30,368,125	0
特定資産				
運営基金	45,126,259	(0)	(45,126,259)	(0)
小計	45,126,259	0	(45,126,259)	(0)
合計	75,494,384	0	(75,494,384)	0

6. 担保に供している資産

ありません。

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次の通りである

科目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	6,760,260	0	6,760,260
立替金	0	0	0
合計	6,760,260	0	6,760,260

8. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当ありません。

9. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当ありません。

10. 関連当事者との取引内容

ありません。

11. 重要な後発事象

ありません。

## 都市住宅学会・附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産について、財務諸表の対する注記4に記載をしているので、内容を省略する。

### 2. 引当金の明細

該当ありません。

財 産 目 録  
2023年3月31日現在

科 目	内 訳	合計
<b>I 資産の部</b>		
<b>1 流動資産</b>		
現金預金		(24,648,624)
現金		47,714
ゆうちょ銀行	千代田区飯田橋郵便局 (振替)	590,253
	千代田区飯田橋郵便局 (普通)	292,960
普通預金	三菱東京UFJ銀行麹町支店	5,723,921
	みずほ銀行麹町支店	75,349
	三井住友銀行麹町支店	271,178
	三菱UFJ信託銀行本店	12,692
	七十七銀行本店営業部	175,893
	三菱東京UFJ銀行栄町支店	480,518
	りそな銀行北浜支店	368,308
	みずほ銀行広島支店	912,964
定期預金	西日本シティ銀行箱崎支店	580,404
	千代田区飯田橋郵便局 (定期)	100,000
	三菱東京UFJ銀行麹町支店	12,000,000
	三菱東京UFJ銀行麹町支店	3,016,470
未収金		(6,760,260)
未収金		5,921,000
	その他	300,000
	関東支部 事務管理費	20
	関東支部 差額	539,240
	受託研究費	0
前払金		0
立替金		0
仮払金		0
<b>流動資産合計</b>		<b>31,408,884</b>
<b>2 固定資産</b>		
<b>基本財産</b>		
定期預金	みずほ銀行麹町支店定期預金	(30,368,125)
	三井住友銀行麹町支店定期預金	10,105,542
	三菱UFJ信託銀行本店定期預金	10,137,865
	三菱UFJ信託銀行本店定期預金	10,124,718
特定資産		(45,126,259)
定期預金	三菱東京UFJ銀行麹町支店定期預金	45,126,259
<b>固定資産合計</b>		<b>75,494,384</b>
<b>資産合計</b>		<b>106,903,268</b>
<b>II 負債の部</b>		
<b>1 流動負債</b>		
未払金		(3,258,056)
	その他事業費	1,324,140
	その他事業費	1,100,000
	その他事業費	40,000
	その他事業費	22,000
	その他事業費	324,584
	その他事業費	447,332
前受金	2022・2023年度年会費	302,463
預り金	源泉所得税等	(408,989)
	関東支部預り金	360,995
		47,994
<b>流動負債合計</b>		<b>3,969,508</b>
<b>負債合計</b>		<b>3,969,508</b>
<b>正味財産</b>		<b>102,933,760</b>